



熊本に貢献する企業を目指し、
皆様のニーズと期待におこたえます。

ごあいさつ

当社の前身である九州産業交通株式会社は「熊本の産業振興会社になる」という創業理念を掲げて1942年に運輸業を開始しました。2006年には持株会社体制に移行し、以後、交通事業、観光事業、飲食・物販事業、不動産事業等を中心に展開し、2022年には設立から80周年を迎えました。

熊本には、九州の中央に位置する地理的優位性があり、豊かな自然や食文化、そして数々の歴史遺産などの観光素材が豊富にあります。2011年九州新幹線の全線開業、2012年熊本市の政令市移行、2020年阿蘇くまもと空港の民間委託スタート並びに2023年春には国内線/国際線一体の新たな旅客ターミナルビルの共用開始と、交流人口の増大や都市ブランド力の向上のための基盤が整いつつあります。

熊本は、2016年4月に震度7(九州では初)の地震が2度発生する「熊本地震」を経験しました。当時は当社の次世代事業基盤となる桜町再開発事業の真っただ中でありましたが、行政や経済界のご支援をいただき2019年に完成させることができました。現在九州産交グループは11社にて事業運営を行っております。

熊本都市圏及び郡部の路線バス、九州主要都市・近畿都市を結ぶ高速バス、九州でも有数な保有台数を持つ貸切バスを主要事業とする「九州産交バス(株)」「産交バス(株)」。

熊本県内のツアーから日本全国、そして世界への旅行をプロデュースする旅行業、全日本空輸(株)の熊本総代理店として阿蘇くまもと空港のグランドハンドリング等を担う航空代理店事業を主要事業とする「九州産交ツーリズム(株)」。

熊本の街なかオアシスをコンセプトに、唯一無二のターミナル複合商業施設「SAKURA MACHI Kumamoto」を運営する「九州産交ランドマーク(株)」

熊本県内の観光・交通拠点並びに大型商業施設等に飲食店事業、物販事業を展開する「九州産交リテール(株)」。

観光と物産を軸に熊本の活性化に取り組む地方創生事業を主要事業とする「(株)KASSE JAPAN」。

「SAKURA MACHI Kumamoto」の建物・設備管理、保安警備、環境衛生等、安心・安全かつ快適な施設空間を創造することを主要事業とする「九州BMサービス(株)」。

総合広告企画会社として、広告事業や企画・イベントのプロデュースを主要事業とする「九州産交プランニング(株)」。

トータルカーサポートサービス熊本県ナンバーワンを目指し、県内11店舗の来店型整備工場並びに钣金・塗装工場を有する自動車整備事業を主要事業とする「九州産交オートサービス(株)」。

熊本港～島原港を結ぶ高速カーフェリー「オーシャンアロー」の運航及びその他海上事業を主要事業とする「熊本フェリー(株)」

最後にグループ会社の統括・管理・支援を行う「九州産業交通ホールディングス(株)」にて事業運営を行っております。

私たちは「顧客本位のサービスを提供することにより、地域とともに繁栄し、社会の発展に貢献する」を企業理念に掲げ、熊本貢献企業として皆様のニーズと期待におこたえてまいります。

2026年4月1日

九州産業交通ホールディングス株式会社
代表取締役社長 織田 正幸



History of 「Kyu San Ko」

- 1942(昭和 17)年 ● 九州産業交通株式会社設立
- 1944(昭和 19)年 ● 熊本整備工場発足
- 1958(昭和 33)年 ● 阿蘇山上にてロープウェイ事業開始
- 貸切バス営業所設置
- 1960(昭和 35)年 ● 全日本空輸株式会社と総代理店契約を締結し、航空代理店業開始
- 1962(昭和 37)年 ● 旅行業営業開始
- 1969(昭和 44)年 ● 熊本交通センター開業
- 1970(昭和 45)年 ● レストラン・売店事業営業開始
- 1973(昭和 48)年 ● 九州自動車道利用の高速特急ひのくに号運行開始
- 1991(平成 3)年 ● 熊本フェリー株式会社設立
- 2005(平成 17)年 ● HIS グループ傘下となり、新企業理念を策定
- 2006(平成 18)年 ● 九州産業交通ホールディングス株式会社を持株会社として、3つの事業会社へ分社化
- 2007(平成 19)年 ● バス・整備事業の拠点を熊本市上代に移転、新社屋(西部車庫)落成
- 2012(平成 24)年 ● 株式会社エイチ・アイ・エスが親会社となる
- 2015(平成 27)年 ● 桜町再開発事業の着工
- 九州産交リテール株式会社設立
- 2017(平成 29)年 ● 株式会社 KASSE JAPAN 設立
- 九州 BM サービス株式会社設立
- 九州産交プランニング株式会社設立
- 2018(平成 30)年 ● 九州産交カード株式会社設立
- 2019(平成 31)年 ● 桜町新施設「SAKURA MACHI Kumamoto」開業
- 2020(令和 2)年 ● 九州産交整備株式会社が九州産交オートサービス株式会社に社名を改称
- 2021(令和 3)年 ● 阿蘇山上ターミナル完成
- 熊本地域のバス事業者 5 社による共同経営スタート
- 2023(令和 5)年 ● 九州産交オートサービス株式会社が有限会社 谷口自動車とM&A

熊本に貢献する企業を目指し、
皆様のニーズと期待におこたえます。

〒860-0803 熊本市中央区新市街1番28号 THE・PLACE花畑 4階
TEL:096-325-8229 FAX:096-322-2730
<https://www.kyusanko.co.jp/>



企業理念

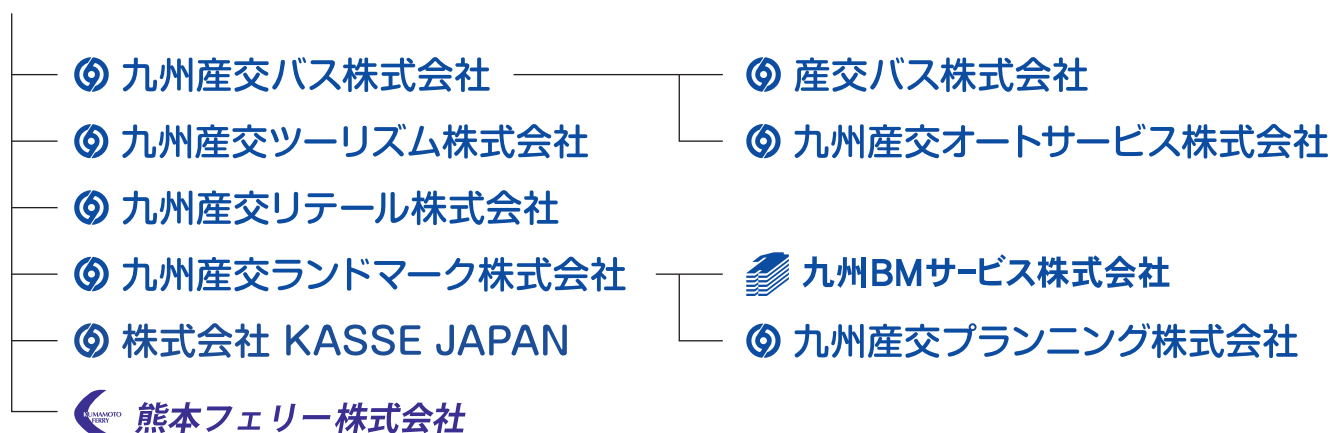
顧客本位のサービスを提供することにより、地域とともに繁栄し、社会の発展に貢献する

企業ビジョン

サービスをもって社会と顧客のニーズ・期待にこたえ、持続的に発展する九州のリーディングカンパニーを目指します

組織図

九州産業交通ホールディングス株式会社



主な事業内容

グループ会社の事業活動の管理・支援

- 総務・法務グループ
- 人事グループ
- ワークライフバランス支援センター
- 経理グループ
- 経営企画グループ
- IT 推進グループ
- 監査室
- 営業企画推進プロジェクト

九州産交グループ SDGsの取り組みについて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



© 2010 熊本県くまモン



© 2010 熊本県くまモン

九州産交グループ全11社は、SDGsに関する重点的な取り組み及び指標を各社掲げ、課題解決に向けより一層積極的に活動を推進してまいります。

実績および目標		
事業	取り組み・指標	実績・目標数値
自動車運送	バス保有車両のCO ₂ 排出量の削減	2025年9月期: 20,256.0t 2026年9月期: 18,136.2t
食堂・売店	廃棄食材の削減	2025年9月期: 11.2t 2026年9月期: 9.3t
不動産賃貸	事業活動に伴うエネルギー使用量の削減	2025年9月期: 2,304kl 2026年9月期: 2,246kl

CO ₂ 排出量 (Scope 1, 2)		
	2025年9月期実績	
	Scope 1	Scope 2
九州産交グループ	27,609t CO ₂ e	5,714t CO ₂ e

熊本県
渋滞対策
パートナー
登録制度

九州産交グループ全11社は、「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」に登録しています。
交通渋滞解消を目的とした、通勤行動変容や公共交通の利用促進などに取り組んでいます。